

## Layout Utilities を使うメリット

### ● 印刷プログラムの作成を容易にします

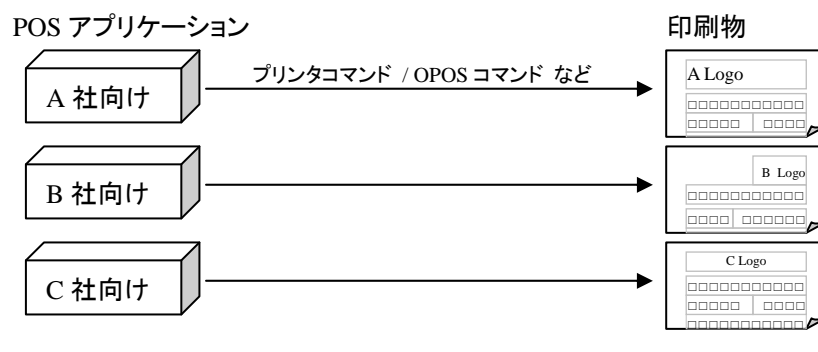
膨大なプリンタコマンドや OPOS に関する知識がなくても、Layout Utilities が用意する 10 個のコマンド(メソッド)の利用方法を習得するだけで、複雑なレイアウト印刷を可能にします。このため、印刷プログラムのコーディング作業を大幅に圧縮できます。

(メソッドの詳細については、ユーザーズガイドをご参照ください)

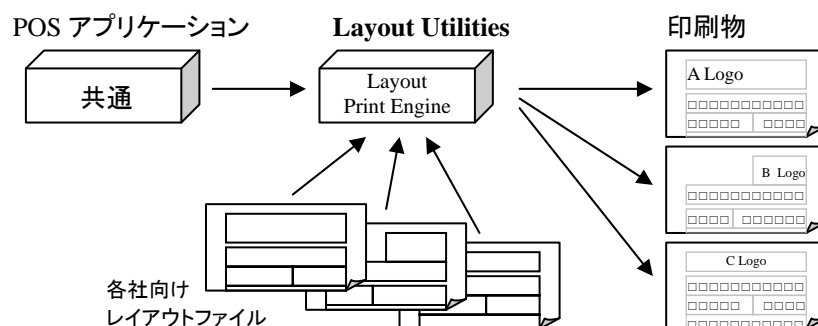
### ● 迅速な顧客対応を容易にします

レイアウト印刷の変更をレイアウトファイルの差し替えだけで可能にします。このため、レイアウト印刷に関するプログラム修正は不要になり、また、レイアウトファイルは一般的なワープロソフトと同様に編集できるため、顧客の要望に現場で対応することも可能になります。

#### ・従来例



#### ・Layout Utilities を利用した例



### ● 表現豊かな印刷を容易にします

Layout Utilities は、図形や各種バーコードなどを用意し、OS に搭載される様々なフォントを利用でき、また、用紙の縦横混在レイアウトに対応など、多種多様なレイアウトファイルを作成できます。

また、レイアウトファイルは可搬性も改善します。初期設定された画像データはレイアウトファイルに含まれるため、各端末内に画像データを別途用意する必要がありません。

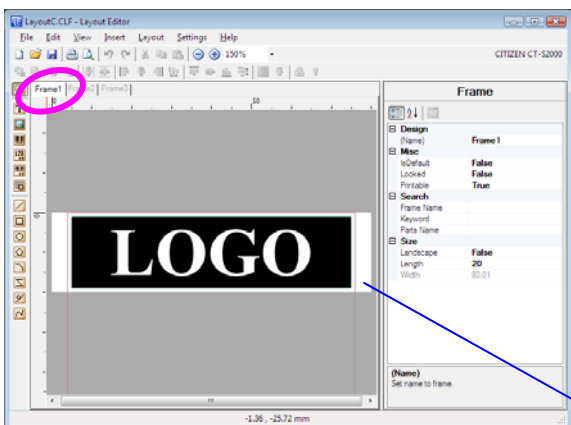
## レシートのレイアウト印刷

Layout Utilities によるレシートの印刷は分割したレイアウトをそれぞれ繰り返し利用することで実現します。  
分割したレイアウトをフレームと呼び、表計算ソフトのシートと同様に管理します。

以下は、その一例です。

### ● Layout Editor によるレイアウト作成

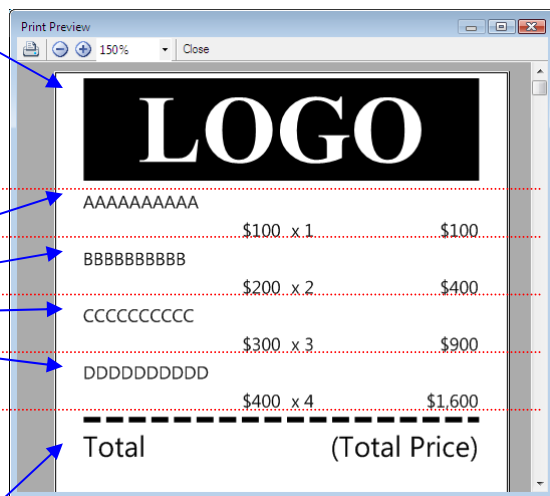
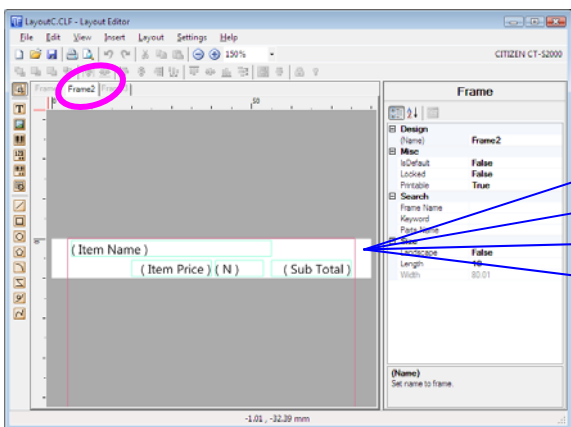
Frame1 ロゴ



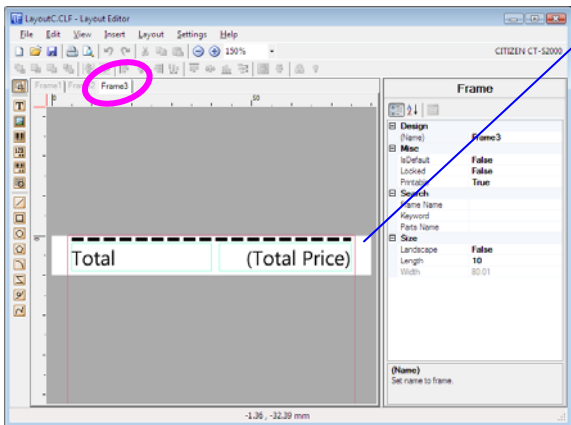
### ● プログラムによる印刷プレビュー

- Frame1 を 1 回
  - Frame2 を 4 回 (流し込み印刷)
  - Frame3 を 1 回
- それぞれを任意に連結して印刷します。

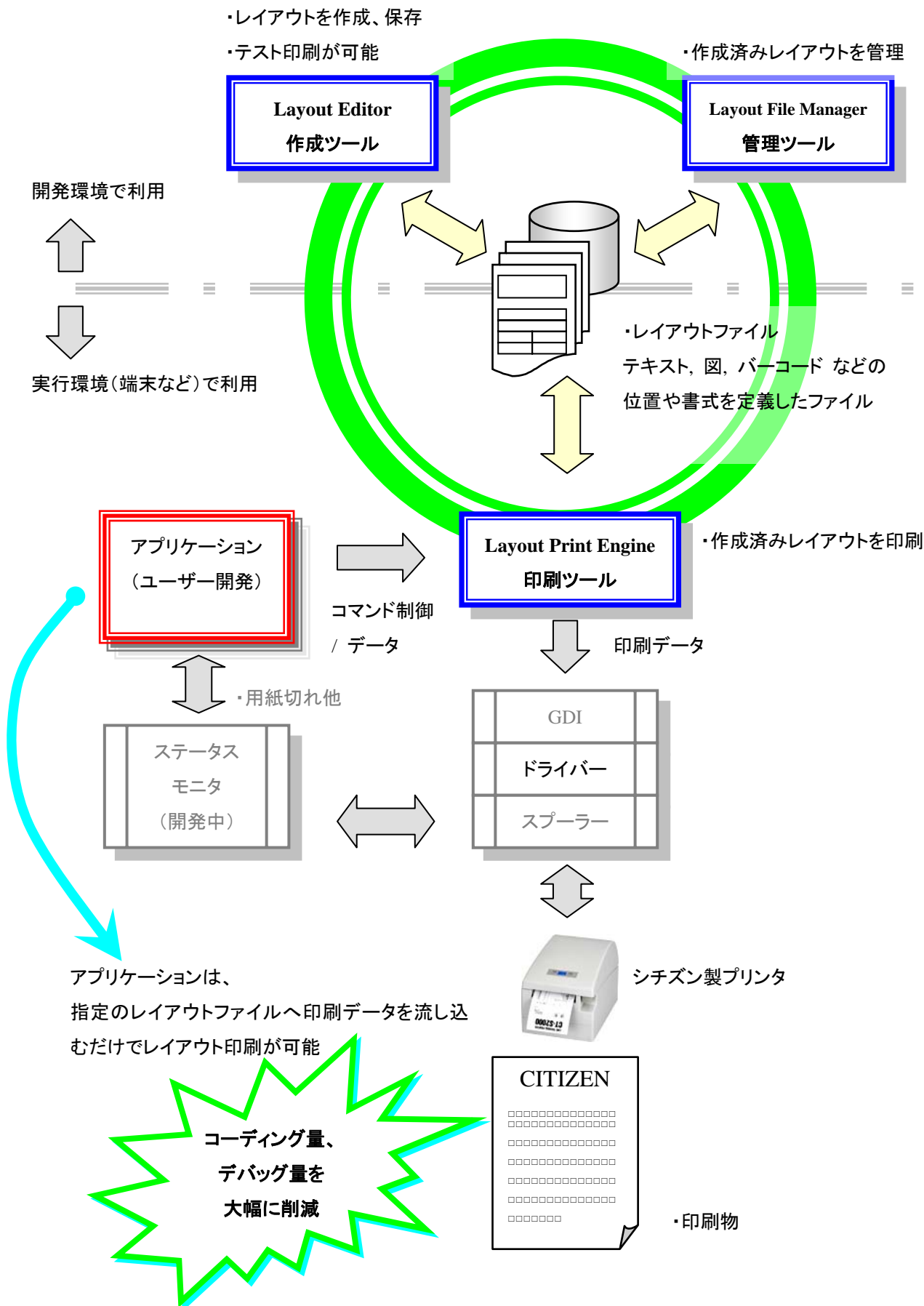
Frame2 明細



Frame3 合計

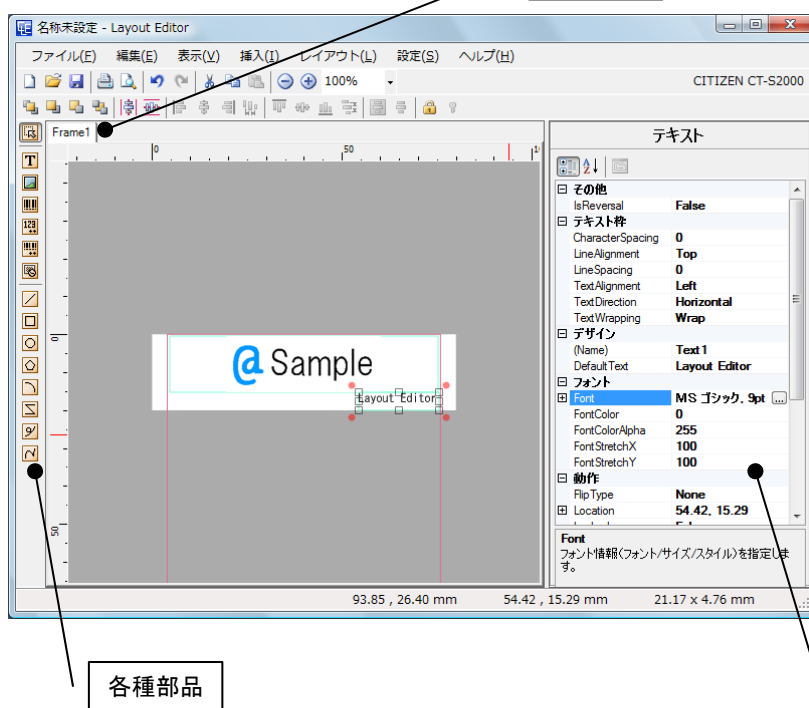


### Layout Utilities を利用した全体像



## 各ツール画面

### ● Layout Editor 画面



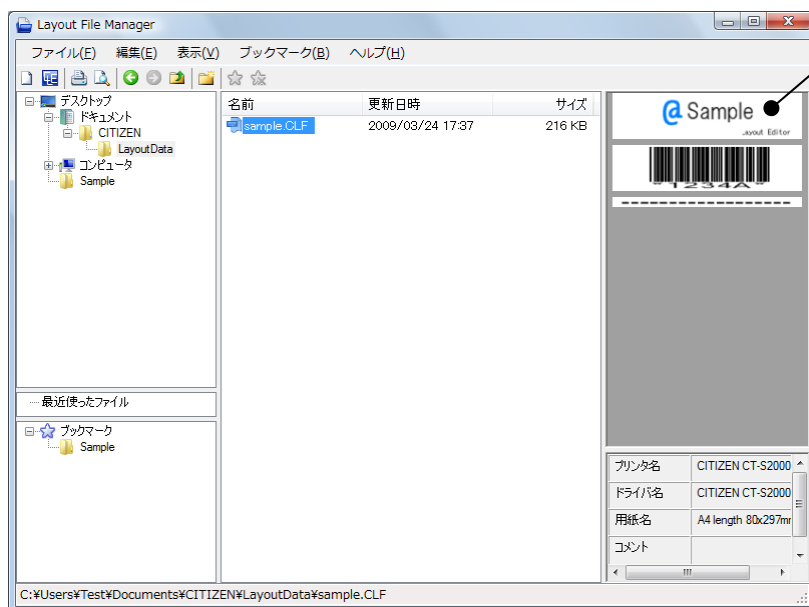
レイアウトファイルを作成します。

各種部品を選択後、ドラッグして部品をレイアウトします。

部品の詳細設定は、画面右の部品プロパティでフォントなどの設定を行います。

ロゴなど用途毎にレイアウトを分割する場合は、フレームを追加します。

### ● Layout File Manager 画面



作成済みのレイアウトファイルを管理します。

レイアウトをフレーム単位でサムネイル表示することができます。

### ● Layout Print Engine

プログラムから呼ばれるコマンド インターフェースのみで、グラフィック ユーザー インターフェース画面はありません。